

7 月度支部役員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成27年7月31日（金） 15：00～17：00

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 門内支部長

常 議 員 大 淵、角 田、小 林(※)、梶 井、安 野
大 谷、谷 口、富 島、平 川、藤 井

(※)「まちつく2015」の設営に急きょ参加することになり、役員会を途中退席した。

支部監事

事 務 局 児 玉

【審議事項】

(1) 前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

(2) 理事会、支部長会議報告の件

- 支部長より、7月17日(金)に開催された理事会および支部長会議の報告が行われた。理事会の主な報告としては、「2016年度大会（九州）の大会委員会・実行委員会委員の委嘱について」、「事務局職員の採用について」、「2015年度大会（関東）における理事の役割分担について」、「2016年度設置特別調査委員会の新規テーマ募集について」、「2015年度竹中育英会建築研究助成交付報告」、「2015年（第26回）日本建築学会「優秀卒業論文賞」および「優秀修士論文賞」選考結果報告」、「創立130周年記念事業について」、「論文集の今後について」、「グローバル時代の建築教育と建築人の育成について」などであった。支部長会議の主な報告としては、「支部活動報告会記録の確認」、「支部運営における確認事項について」などであった。

(3) 本部学術推進委員会報告

- 7月2日(木)に開催された本部学術推進委員会には、当支部からの代表委員が6月29日に確定した直後の開催であったために、代理出席も含め出席できる役員がいなかったため欠席することとなった。
- 本部から送られた配布資料を出席役員が各自確認することで報告とした。

(4) 支部報告 1. 事業報告 2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。

(5) 当支部事業幹事会（7月22日開催）の報告

- 大淵事業常務幹事より、事業幹事会にて審議された今年度の支部事業内容は、BIM（ビルディングインフォメーションモデル）を取り上げた内容とすることが報告された。

(6) 当支部研究委員会（7月31日開催）の報告

○優秀発表賞の候補者について

○来年度の近畿支部研究発表会実施に伴う検討結果の報告

- 角田常議員（当支部研究委員会委員長）より委員会で審議された、近畿支部研究発表会に関する次の5件の内容に関して報告があり席上にて承認された。
 1. 平成27年度研究発表会優秀発表賞の受賞候補者(23名)報告
 2. 講演発表者の欠席は募集要項のとおり認めないことを原則としたうえで、各部門の事情もあるので最終の判断は、今までどおり各部門に委ねることとした。
 3. 来年度の開催時期と会場は、今年度と同様に開催できるよう会場となる学校に事務局から依頼することとした。
 4. 来年度の優秀発表賞は今年度と同様に実施する。
 5. 過去の採点担当者一覧を纏め、研究発表会のプログラム編成会議に配布して、採点担当者に偏りが無いようにすることとした。

(7) 2016年日本建築学会大賞業績候補推薦の件

- 支部長から候補者を検討するよう際の注意事項の一つとして、本部研究委員会の動向などを確認するよう指示があった。
- 遅くとも12月度支部役員会までには候補者を決定することとして、次回役員会以降の継続審議とした。

（本部への推薦締切日：2016年1月20日(水)）

(8) 2016年日本建築学会文化賞候補業績推薦の件

- 支部長から賞の内容について報告を受けた後に、候補者を検討するよう役員に対し指示があった。遅くとも11月度支部役員会までには候補者を決定することとして、次回役員会以降の継続審議とした。

（本部への推薦締切日：2015年12月11日(金)）

(9) 2016年日本建築学会教育賞(教育業績)推薦依頼の件

- 支部長から賞の内容について報告を受けた後に、関係役員の所属先などで候補者を検討するよう指示があった。次回の役員会では候補者の有無も含めて決定することとして、次回役員会への継続審議とした。

（本部への推薦締切日：2015年10月9日(金)）

(10) 2016年度 大会研究集会のテーマ立案の件

- 当支部の常置研究部会にテーマ案を検討していただき、所定の書類にて本部へ回答していただくよう事務局から連絡することとした。

(11) 協賛名義借用依頼の件

- 次の協賛名義借用事業3件については承認することとした。

①第1回若手セミナー ～地盤工学の基礎講座～

- 期 日 9月11日
- 会 場 ドーンセンター 大会議室
- 主 催 地盤工学会関西支部

②講習会 応用計測の基礎とその応用

- 期 日 10月29日
- 会 場 大阪科学技術センター8階 中ホール
- 主 催 日本機械学会関西支部

③『良質で長寿命の土壁の家を造る』建築実務者向け講習会

- 期 日 9月19日
- 会 場 ルビノ京都堀川（京都市上京区）
- 主 催 関西木造住文化研究会

(12) 後援名義借用依頼の件

- 次の後援名義借用事業については承認することとした。

○まちあるきプロジェクト「ぶらり大阪“景観”ウォーク天王寺区編」

- 期 日 9月26日
- 対象地区 大阪市 天王寺区 16ヵ所の施設
- 主 催 大阪府建築士事務所協会

(13) その他

○中島会長から支部長に依頼された検討内容について

- 当支部の女性会員による委員会組織を立ち上げるよう依頼されたので、委員の人選を行うにあたり、必要に応じては役員の協力を仰ぐ場合がある旨の説明があった。

【報告事項】

(1) 研究発表会終了に伴う収支報告の件

- 今回の発表会収支に関しては、暫定収支として74万円程度の剰余が発生する見通しであることが事務局より報告された。

(2) 設計競技支部審査結果報告の件

- 角田常議員(支部審査会審査員)より、今回応募のあった40作品は、7月13日に開催された当支部審査会の結果、9作品が支部入選に決定したとの報告があった。

(3) 当支部「親と子の都市と建築教室」(大阪会場、京都会場)開催の件

- 角田常議員、安野常議員(親と子の都市と建築教室拡大実行委員会担当役員)より、親と子の都市と建築教室の事業として開催する、「まちつく2015」(8月1日(土)、2日(日))および「第13回 京町家の伝統技術を学ぶ」(8月22日(土))の開催内容について説明が行われた。

以上